

国労ちば

国鉄労働組合
千葉地方本部
発責 加藤 晃一
編集 高橋 弘幸
【電話】
JR 2930 FAX 2934
NTT 043(238)5963

2024年新春号

謹賀新年



労働者による春闘を構築しよう！



加藤委員長



誰のための労働組合か？

組合員の皆さま、ご家族の皆さま、新年あけましておめでとうございませう。

ここ数年を振り返れば、あらゆる社会保障費の削減、増税が進められてきた中、非正規労働者の拡大などにより、低賃金・不安定雇用が増大し労働者の生活は益々厳しいものとなっております。

世界平和が脅かされる中、岸田内閣は防衛費の強化を謳い5年間で43兆円という巨額に倍増させ、敵基地攻撃能力をも保有するとしています。これは戦後

最大の安民法制の大転換だと言わざるを得ません。

一方、物価が高騰し、可能な限り節約しても高騰に追いつくことができない賃金や年金の支給水準では、私たちの生活はその厳しさを増すばかりです。

今、労働組合の組織率が急速に低下しています。JR東日本の社員の8割以上が労組未加入、しかもその大半は社友会という親睦団体に加入するという異常な状況です。今更言うまでもなく、憲法で守られた「団結権や団体交渉権」を有効に活用し労働者の命と権利を取り戻すため、あき

らめることなく組織拡大に奮闘しなければなりません。昨年には懸案であった分会再編も2年かけた議論の甲斐あって、更なる体制強化をすることができました。

国労の闘いを顧みれば、激しい国鉄「分割民営化」攻撃の中で、1986年に千葉で開催された国労全国大会で本部側から「大胆な妥協」が提案され、その後の修善寺で開催された第50回臨時大会において「大胆な妥協」

「労使共同宣言」は否決されたわけですが、これが国労運動の大きな転換期の一つとなったという思いを今更ながら強くしています。

会社の異常な労務施策とそれがもたらす不当労働行為や労使紛争が、安全性を阻害する要因となることは、分割民営化から今日まで

発生した多くの事故の悲惨さをみても明らかです。

闘いなくして安全無し！

国労の闘いの歴史、それは職場闘争にあったと言っても過言ではありません。班・分会・支部・地本と、それぞれの役割を担う組織を確立して闘ってきた成果でもあり、そしてまた、家族会の存在は職場の闘いを時に陰日向となり支え、苦しい闘いの中でも明るい笑顔絶やさない原動力となっていました。

労働組合を語るとき存在意義が問われている現状をどう捉え、再び労働者が結集できる組織となり得るのか、土俵際待ったなしです。

そうした現状を打破するためにも、多くの諸先輩が拘り続けた「闘いなくして安全なし」の言葉を胸に、国労の真骨頂である「安全第一」に拘り、労働者の命と権利、利用者が安心して利用できる

鉄道会社であり続けること、その道を私たちが国労がこれからも維持・発展させていかなければなりません。

手が、「野球やろうぜ」を合言葉に、全国の小学校にクラブを寄贈するとの報道がありました。子供たちに「夢を持つとうよ」という彼流の熱いメッセージとその行動に感動した方も多いと思います。彼ほどのカリスマ性を持ち合わせない私たちですが、将来への夢を語るがごとく新たな仲間を迎い入れる準備を怠ることなく前進あるのみです。

今年は辰年、龍に因んで天にも昇る勢いで

形勢逆転といきましょう。今後も職場の皆さんとともに、鉄道の安全と公共交通の維持向上、平和と民主主義を守るため更に取り組みを強化し、労働者が本来の笑顔を取り戻すための節目の年にしましょう。

結びに、皆さまのご多幸をお祈りするとともに、国労運動が未来にはばたく輝かしい年になることを祈念し、年頭のあいさつとします。

国鉄労働組合千葉地方本部

2024年度執行委員会

- 執行委員長 加藤 晃一
- 執行副委員長 松田 優一
- 書記 北嶋 福利
- 執行委員 長松 則一
- 執行委員 嶋田 英二
- 執行委員 中嶋 弘幸
- 執行委員 高橋 幸之
- 執行委員 佐川 正則
- 執行委員 北村 智之
- 執行委員 飯田 秀樹
- 特別執行委員長 越川 幸夫
- 会計監査員 鈴木 浩
- 会計監査員 石橋 康裕

国労千葉地方本部議員団

- いすみ市議会議員 元 吉 栄 一

本年もよろしくお願ひします

鉄道退職者の会 千葉地方連合会

会長 水野文雄



き継ぐ鉄道・運輸機構に遺族給付金の申請を提出したが不認定とされ、遺族は異議申立書を提出しています。

明けておめでと
うございます。

旧国鉄に検査・整備工場で35年間アスベスト(石棉)に接する作業に従事したOBが2013年87才で死亡。死亡診断書の死亡欄に「中皮腫」と記載されていました。2022年12月に清算事業を引

高齢者の生活は年金・医療・介護は最も重要です。鉄道退職者の会では社会医療制度の改善、年金制度の改善要求の実現、地方公共交通の課題に引き続き取り組んでいきます。政府は「原発の再稼働」、「運転期間の延長」、「新増税」を進めよう

としていきます。原発再稼働阻止、再生可能エネルギーへの政策転換と脱原発社会の実現に向けて取り組んでいきます。

交運共済から「こくみん共済COOP」への契約移転が実施されました。会員拡大に向けて取り組みを進めていきます。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

会員の年齢構成も80才以上が大半を占め、将来の組織維持が難しい状況です。会員の高齢化は全国的であり、組織拡大は退職者の会

の最大の課題です。国労千葉地本と連携を強化し会員の拡大に努めます。各地区に支部体制を充足させ、よりきめ細かく会員の皆様との係わりを持ち、体制の確立に向けていきます。

会員、ご家族の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、年頭のあいさつとします。

国鉄闘争の経験と教訓を活かす千葉県共闘会議

議長 坂本雄一郎



も予想がつきません。

2024年、開業150周年を越えた、日本の鉄道の姿はどのようになっているのでしょうか。今、全国各地でローカル線が存続か否かの岐路に立たされています。国土交通省の発表によれば、JR6社の輸送密度2,000人未満の路線は、分割民営化時点(198

新しい年、ウィルスの状況はもとより、ウクライナとパレスチナの情勢はどうなっているのか、岸田内閣の支持率は如何ばかりか。皆様がこの拙文を読まれる時がどのような状況下にあるのか、今回

7年)での16%から2020年には倍以上の38%にまで増え、利用者の減少に歯止めがかかりません。近年相次ぐ災害で被害を受けた路線が復旧せずにそのまま廃止になる背景には、こうした状況があります。その結果、2000年以降、私鉄も含め全国で46路線(1193.6km)が廃止されました。

千葉県に目を転じれば、昨年は久留里線の問題が新たな段階を迎えています。郡部にお



中央ろうきん千葉支店

行事への参加、新車等の購入などコロナ禍では規制や経済不調で制限されていたことができるようにになりました。

《中央ろうきん》では住宅や車の購入、教育資金としてご利用頂ける低金利の各種無担保ローンや旅行・生活資金等で自由にご利用頂けるマイプラン(カードローン)などをご用意しております。またお借換えにもご利用頂けますので、もし他社で高金利のお借入がある場合には是非ご相談ください。



田中京平さん

明けておめでと
うございます。

日頃より《中央ろうきん》をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。昨年は2020年から続く新型コロナウイルス感染症による影響は落ち着きを見せ、日本経済の状況もコロナ前の水準へ回復してきました。まだまだ感染への警戒は必要であるものの旅行や

とって、鉄道は大切な移動手段です。人口減少や流出を止める術は、容易には見出せませんが、地域の再生や活性化のためにも、今回のウィルスの影響を受け、単年度としては赤字決算になろうとも、巨額の内部留保を有する会社や、民営化を進めた国は、ここにこそ英知を傾けるべきです。日本国固有鉄道という、国民の貴重な財産を継承した重みへの自覚を促

すためにも、貴労組の躍進を願ってやみませぬ。

ロシアによるウクライナ侵略を奇貨として、軍備増強や原発新増設などに舵を切るという判断をした岸田政権、支持率は低下しているものの、様々な調査から本格的な政権交代はまだ厳しい状況にあると言えます。

生きていく上で一番難しいのは、諦めないことです。この社会に

その他にも資産運用や退職後の金利上乗せ商品等もご用意しております。皆様の今後の豊かな暮らしの一助となるようお役立て頂けると幸いです。

どうぞ本年もよろしくお願い致します。



中央ろうきんQRコード

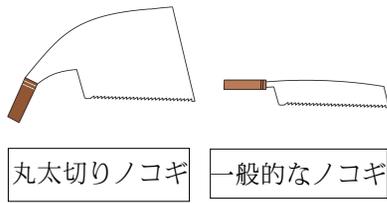


はびこる不合理をわずかながらでも改善してゆくために、共に頑張ります。



寒い部屋に湯気が

子供の頃の遠い記憶をたどると昔は正月の用意は随分と大変だったような気がする。田舎・・・それも開拓農家の末裔と言ったこともあり、収穫した米で餅をついたものだ。使用する臼と杵はむしろすると原生林を切り開いたときに伐採した木で作ったのではなからうか。金銭的に余裕が無かったこともあり普段目にする物も手作りのものが多かった。資料館で見るとような古い道具も家に普通にあったりもした。



餅つきの日は朝から大きな釜をストーブに乗せ、布に包んだもち米を蒸かしていた。蒸かしあがるとその布ごと臼まで運ぶ。ストーブの無い部屋は寒く蒸かしたもち米から白い湯気が上がる。父が杵を振るい母が臼の中で餅を返し、ペタンペタン

ンと言うリズムミカルな音が楽しかった。つきあがるとそば打ちに使う幅が1メートル以上あるような四角いテーブルに乗せて丸い棒で平たく伸ばして四角く切ったり、中にあんこを入れて丸めた餅を並べるのは子供の仕事。鏡餅は時が経つにつれ寒さで段々と固くなりひびが入ってくる。鏡餅に父がキンキンに研いだ包丁を当て、金槌でその包丁を叩いて薄く切る。それを焼いたり油で揚げて砂糖をまぶして食べたものだ。

手伝いは楽し?

小豆を煮てあんこを作るのは母の仕事だった。餅を突く日の何日前か前からストーブに乗せた大きな鍋でコトコトと時間をかけゆっくり煮込んでいた。こしあんなので皮を除くのだがどうやっていともかもう記憶には無く、こし布に包んで力をかけ、中の水分を押し出していたがかなりの力仕事だったように思う。それをまた鍋にかけ、砂糖を混ぜて焦げないようにゆっくり時間をかけて煮込んでいく。煮込みながら味を調整し出来上がるとストーブ

講座 労働 春 新及旗

き

日時：2024年1月13日（土）13：00～

場所：みどり寿司



から降ろして冷えると手で丸めて容器に並べていく。子供にとってあんこは大好物であり、それを自分から手放すのは耐えられず時々つまみ食いして怒られたものだ。北海道は外部からの移住者が開拓した土地であり、同じ地域から集団入り、植したところもあるが、我が家の近所は様々な地域からの移住で受け継いできたものもそれぞれ違い、〇〇さんの雑煮に



入れる餅は丸なんだよと聞かされたことがある。子供の頃はそういうことにたいして興味も無く、いつしか臼と杵で餅をつくことも無くなった。正月の風景も時代の移り変わりとともに変わってきたが、「正月の思い出」が子供の頃に遡るのほそれだけ年を重ねたことなのだろうかと思う今日この頃。それでも正月は毎年やって来る。正月を語れるのはまだ幸せなことなのだろうか。今年が良い年でありますように。

写真で振り返る 2023年



2023年5月3日
憲法集会



2023年9月9日
第77回定期大会



2023年1月14日
拡大分会長会議



2023年2月16日
第35回一財) 国労会館
千葉地区労働講座



2023年10月15日
団結まつり

運協定期委員会開催

11月29日、地本において運協定期委員会が開催された。

出席した委員からは、
◆みどりの窓口閉鎖により案内件数が増えている。実践的な勉強会が行われずサービスは「Aランク」を目指すことに力を入れている。国鉄からJRへの転換は誤りだ。

◆退職により要員が少なくなるのが分かっていても助勤で回すだけ。年休が取れないこともある。コロナに罹患しても5日経てば出勤してほしいと言われる。検査キットは会社が負

担すべき。

◆勤務者は乗務員や他駅からの助勤で若いプロパー社員がいない。サービス診断時にスマホで撮影していると思われる。肖像権に抵触するのでやめるべき。

◆多くの職場で要員不足のため年休が取れない。統括センター化により他業務との兼務には不安がある。安全を守る観点からも問題だ。特急の全社指定席化は現場より先にプレス発表している。
◆二人で勤務を回している駅はケガをしても無理して出勤している。

鉄道退職者の会 千葉地方連合会総会

退職者の会千葉連合会は12月9日、国労千葉地方本部で第51回定期総会を開催した。総会は10時30分から開催、午前中で終了。短時間で終わった。石橋幹事から経過、活動方針の提起があり全体で確認した。

2022年度は、鉄

などの発言があり、今後も地本と協議しながら闘いを継続することを確認し終了した。



- 新役員体制
- 議長 石井 光
 - 副議長 小澤 康雄
 - 安田 正浩
 - 竜崎 好暢
 - 飯高 聡明
 - 事務局長 松本 光男
 - 会計監査 名雪 勝男
 - 委員 名雪 勝男

分会大会

津田沼分会

12月7日、地本において分会大会が開催された。佐川書記長の司会で始まり、太田副委員長が議事を進行した。鈴木分会長、加藤地本委員長のあいさつの後、各職場から実態が報告された。

◆新入社員が配属されるが思うように育っていない。駅務長は座ってタブレットを眺めているだけ。
◆自動改札機稼働停止により磁気券専用の通路が無く有人通路で対応している。

実現、地方公共交通の充実の課題に取り組む。政府は「原発の再稼働」「運転期間の延長」「新增設」をしようとしている。原発再稼働阻止、再生可能エネルギーへの政策転換と脱原発社会の実現に取り組む。組織拡大は退職者の会の最大の課題。国労千葉地本と連携し、会員の拡大をしていく。

新役員体制
会長 水野文雄



- 副会長 青柳庸弘
- 副会長 松田優一
- 事務局長 石橋康裕

◆車イスが多く、月平均280件。一徹一日勤のため、一人の時は窓口を閉めて対応するしかない。

◆日勤者もいない一人勤務体制なので物落としなどは必ず列車を押し止しなければならぬ。指令によっては抑止まで時間がかかる。急病人など状況報告も含め対応に苦労する。パソコンやタブレットで行う作業が増え年配者には厳しい。

◆夜間に旅客転落があったが一人勤務なので全てを一人でやらなければならぬ。応援到着が運転再開後ではあまり意味がない。

◆ホテルが多く外国人旅行者や修学旅行者が多い。チェックアウトのピーク時は案内が輻輳するが巡回に居合わせた管理者は手伝おうとしない。

◆新人が配属されるが教えられないような社員は助勤に割かれ、若手しかいないこともある。社員を育てるには時間と手間がかかる。真剣に会社の将来展望を見据えた施策を考えるべき。などの発言があった。

今後も定期的に非番者集会を開催し、運動を続けることを確認した。



- 新役員体制
- 分会長 鈴木 浩
 - 副分会長 太田 久市
 - 書記長 佐川 正則
 - 執行委員 松本 光男
 - 高橋 弘幸
 - 川崎 義博
 - 会計監査 高田 勝則

平和を守る千葉集會

12月8日、国鉄闘争の経験を活かす千葉県共闘会議主催の「千葉県平和集會」が千葉県教育会館で開催された。

主催者を代表して坂本議長があいさつし、続いて社会民主党千葉県連合、新社会党千葉県本部、日本共産党千葉県委員会よりあいさつ。立憲民主党千葉県総支部連合会からのメッセージが紹介された。

朝鮮大学校朝鮮問題研究センター長・教授の金 哲秀(キム・チョルス)さんより「関東大震災100年・朝鮮人虐殺問題を考える」のテーマで講演を受けた。

大地震後の混乱と不安の中、デマの拡散により多くの無実の朝鮮人が虐殺された事件は集団心理の怖さとSNSの普及により現実性

の無い情報に触れることが多くなった現代にも重なる部分もあり、考えさせられる講演であった。

